

2024

映像ソフト市場規模および ユーザー動向調査報告書



目次

1 2024 年調査概要

1.1	はじめに	5
1.2	調査概要	5
1.2.1	調査期間	5
1.2.2	本調査条件	6
1.2.3	回収サンプル数	6
1.3	各セグメント定義について	6

2 ユーザー動向調査サマリー

2.1	映像ソフト市場規模と変化	7
2.2	セグメント別利用率・単価の推移	8
2.3	レンタル・セル・有料動画配信利用者サマリー	10
2.3.1	各サービス利用者属性	10

3 セグメント別市場動向

3.1	セル市場動向	12
3.1.1	セル市場概況	12
3.1.2	セル市場の潜在需要と特典	15
3.2	レンタル市場動向	16
3.2.1	レンタル市場概況	16
3.2.2	今後のレンタル利用に関する意向	17
3.3	有料動画配信市場動向	19
3.3.1	有料動画配信市場概況	19
3.3.2	SVOD 利用サービス、利用率の動向	21
3.3.3	消費者が SVOD に求めるもの	25
3.3.4	SVOD オリジナル作品への注目	27

4 多様化する“動画”市場とその動向

4.1	AVOD のプレミアムサービス利用状況と成長余地	29
4.2	有料チケットによるライブ配信	31

4.3	映画館の今	31
4.3.1	映画館での映画視聴と配信の影響.....	31
4.3.2	映画館の魅力と価格価値.....	32
4.4	動画配信者化する視聴者 ～ショート動画と投げ銭を中心に～	35
4.4.1	ショート動画市場の拡大と利用動向.....	35
4.4.2	ストリーマー文化と投げ銭消費.....	38
4.5	2024 年のエンタメ消費の総括	38
4.6	将来のエンタメ消費予測	39

図表目次

図 1	2023 調査から 2024 調査への変更点.....	5
図 2	市場規模推移.....	7
図 3	各セグメント利用率.....	8
図 4	各セグメント利用単価.....	9
図 5	各サービス利用者の性・年代・既婚比率.....	10
図 6	同居家族.....	10
図 7	各サービス利用者の居住地域.....	11
図 8	各サービス利用者の主な視聴環境.....	11
図 9	年間平均購入枚数.....	12
図10	年間平均購入金額分布.....	13
図11	セル購入ジャンル.....	14
図12	映像コンテンツを購入したいと思う動機の Top10.....	15
図13	平均レンタル本数分布.....	16
図14	平均レンタル価格分布.....	17
図15	メディア別レンタル意向者.....	18
図16	レンタルをする場合の形式.....	18
図17	有料動画配信市場規模推移.....	19
図18	有料動画配信を利用し始めた時期.....	20
図19	SVOD サービス利用率ランキング.....	21
図20	配信事業者別利用者性年代属性（利用率上位 10 サービス）.....	22
図21	ジャンル別視聴本数と市場シェア.....	24
図22	SVOD を利用し始めたきっかけ.....	25
図23	有料動画配信の視聴目的.....	26
図24	オリジナル作品視聴率.....	27
図25	SVOD に求めるサービス.....	28

図26	AVOD プレミアムサービスの利用状況	29
図27	配信までの許容期間と費用のバランス	32
図28	映画館の魅力	33
図29	作品の魅力	33
図30	映画館の付加価値へ支払える価格（PRICE2 分析）	34
図31	ショート動画認知と利用	35
図32	年代別ショート動画利用率	36
図33	ショート動画の視聴コンテンツ	37
表 1	配信事業者別 視聴ジャンル（平均との比較）	23
表 2	年代別 年間エンタメ消費総額	38
表 3	コンテンツ利用者一人当たりの消費額	39
表 4	10 年後の消費額見通し	40

1.1 はじめに

本調査は「ビデオソフト市場（DVDとBDのセル及びレンタル）」と、ユーザーがコンテンツに対して対価を払うことで視聴する「有料動画配信市場」とを合わせて、『映像ソフト市場』として定義した上で、その市場規模とユーザーの利用動向について、ユーザーに対するアンケートを基に調査したものである。

また、本資料作成にあたり、2つの調査を実施している。1つは「規模調査」、1つは「動向調査」である。前年の「映像ソフト市場規模およびユーザー動向調査2023」においてはユーザー動向調査と世代別トレンド調査の2つを実施し、その内容を統合して記載したが、今回より調査内容を刷新し、主に市場規模・消費額など金銭に関する調査を「規模調査」、ユーザーの興味関心・意向などに関する調査を「動向調査」として再編した。

図1 2023 調査から 2024 調査への変更点

2023年調査

メイン調査：

主にセル・レンタル・有料動画配信に関して市場規模・市場動向を問わず広く聴取を行う

トレンド調査：

主に年代別の動向や新興サービス（SNS、AVODなど）について市場規模・市場動向を問わず広く聴取を行う



2024年調査

規模調査：

セル・レンタル・有料動画配信・SNS・AVODなど、コンテンツの種類を問わず、主に利用履歴や消費額など、市場規模に関連するファクトに関して広く聴取を行う

動向調査：

セル・レンタル・有料動画配信・SNS・AVODなど、コンテンツの種類を問わず、主に利用意向やサービスへの意見など、消費者の意思に関して広く聴取を行う

本レポートでは第2章で規模調査の結果から重要事項を抜粋して記載し、第3章で動向調査の結果から重要事項を抜粋して記載する。また、必要に応じて部分的に章を跨いだ調査結果を引用している。そのため、本レポート内では特に断りのない場合は第2章では規模調査に基づいた結果を、第3章では動向調査に基づいた結果を記載し、調査を跨ぐ場合には都度注釈を付すものとする。

1.2 調査概要

日本国内に居住する満16歳～69歳の男女を対象に、ウェブアンケートを実施した。アンケートの配信にあたり、性年代別・都道府県別構成比を住民基本台帳に基づいて割り付け、スクリーニングを回収した。（以下、割付）

ここでの性年代別とは、性別を2区分（男女）および、年齢を5年代毎に11区分（16-19歳、20-24歳…64-69歳）と設定し、これを各都道府県別に回収を行った。

1.2.1 調査期間

両調査ともに2025年1月10日から2025年1月17日。

1.2.2 本調査条件

規模調査：日本国内に居住する満16-69歳の男女。

※ただし、有料動画配信市場対象者に関しては追加で回収。

動向調査：日本国内に居住する満16-69歳の男女かつ、2024年の間に映像コンテンツの消費がある一般消費者。

1.2.3 回収サンプル数

規模調査：1,980サンプル+有料動画配信市場に特化したブースト1,456サンプル

※ただし、調査のサンプル内で、ブーストサンプルの条件を満たしたものは、サンプルにも割り付けられているものが一部存在する。

動向調査：2,274サンプル

1.3 各セグメント定義について

本調査では重要な各セグメントを以下の通り定義した。

- ① **セル購入者：**2024年の間にDVDまたはBDのセルパッケージ作品を自身で購入した方。
 ※新品購入に限り、プレゼントや景品、懸賞での入手を除く。また、パッケージ作品の購入者のみを対象とし、デジタルでの購入は後述のESTに算入した。
- ② **レンタル利用者：**2024年の間にDVDまたはBDの映像作品を自身でレンタルした方。
 ※パッケージ作品としてのレンタル者のみを対象とし、デジタルレンタルは後述のTVODに算入した。
- ③ **有料動画配信利用者：**2024年の間にSVOD、TVOD、ESTなどの有料動画配信の何れかを利用した方。
 - ※**SVOD【Subscription Video On Demand】**
 毎月定額で支払うと、そのサービスに含まれている映像作品が見放題になるサービス。
 （例：月 980 円で 1万作品が見放題／月 1,580 円でパック内全て視聴可／
 年 3,980 円でその他のサービスとあわせて映像作品 1 万作品が見放題）
 - ※**TVOD【Transaction Video On Demand】**
 1作品ずつ決められたお金またはポイントを支払い、決められた期間のみ視聴できるサービス。
 NHK オンデマンド等のテレビ局の動画配信、ケーブルテレビの動画配信など。
 定額課金と組合せで提供されている場合もあります。
 （例：1作品 420 円で 48 時間程度、期間中は何度でも視聴可）
 - ※**EST【Electronic Sell Through】**
 1作品ずつお金またはポイントで支払い、無期限で視聴できるサービス。
 iTunes、Google TVなど。定額課金、都度課金と組合せで提供されている場合もあります。
 （例：1作品 3,000 円程度でいつまでも視聴可）
 - ※**AVOD【Advertising Video On Demand】**
 広告掲載型の動画配信サービス。
 通常は広告付きで無料で視聴することができる。YouTubeやTVerなど。
 なお、課金することで広告を消せるプレミアムサービスも存在する。

2.1 映像ソフト市場規模と変化

**映像ソフト市場の市場規模推計は 8,276 億円。
前年比は 101.9% だが、成長鈍化。**

映像ソフト市場の推計規模は**8,276億円**となり、**前年比101.9%**とわずかに増加した。市場全体としては2018年以降7年連続で成長を続けているものの、そのスピードは緩やかになりつつある。特に2020年頃から急成長していた有料動画配信市場の拡大が一段落したことが影響しており、縮小が続くセル・レンタル市場との相殺によって、市場全体は前年同程度の水準で落ち着いた形となった。

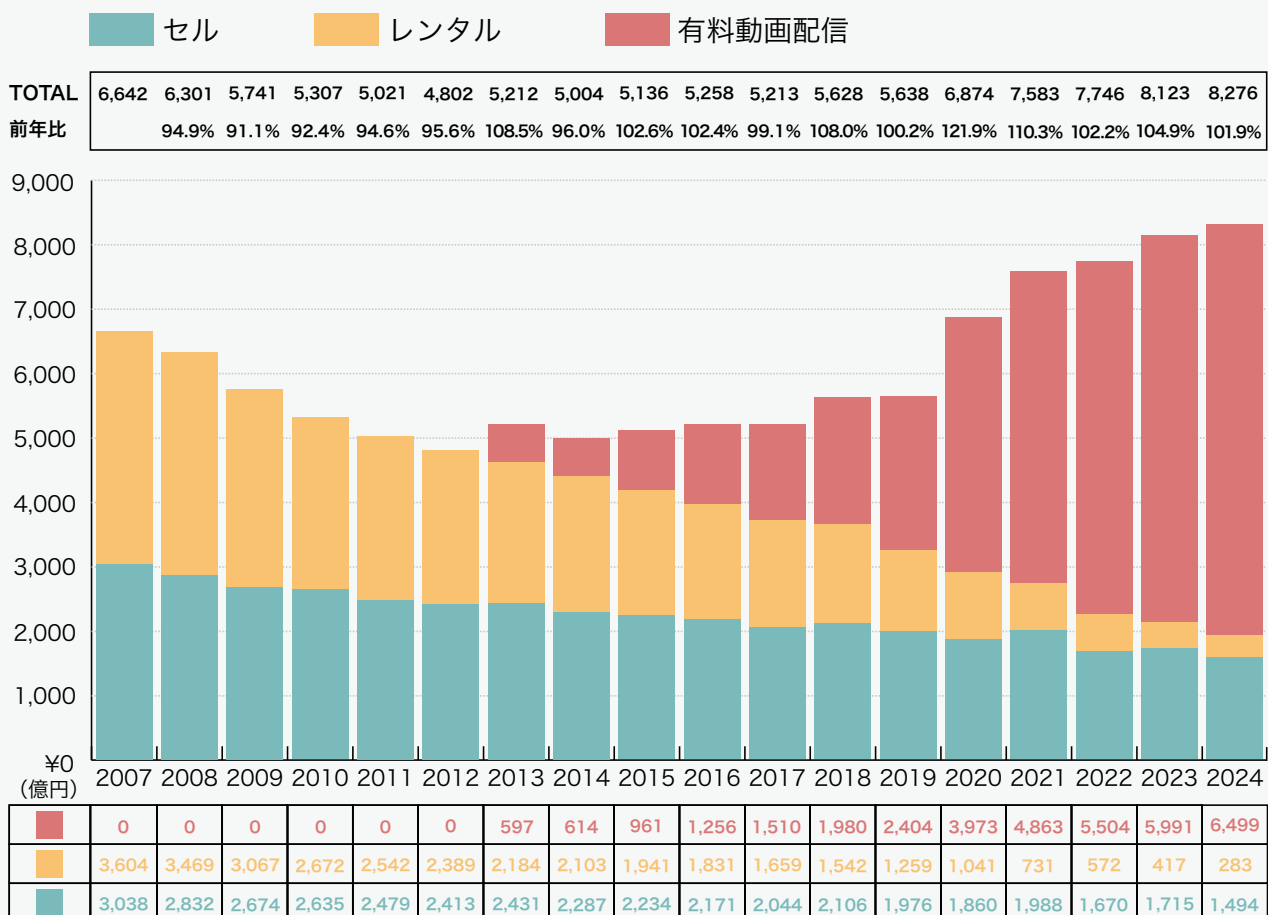
セル市場は**1,494 億円**で、前年比 **87.1%**と大幅に縮小し、2007 年の調査開始以来最小規模を記録した。2023 年には好調だったアイドル関連商品の売上が 2024 年にはマイナス成長へと転じ、市場全体に大きな影響を及ぼしたと考えられる。

レンタル市場も引き続き縮小傾向にあり、**283億**

円(前年比**67.9%**)に減少した。特にここ数年、年平均30%前後のペースで市場が縮小しており、セル市場と合わせた規模は**1,777億円**となり、前年比**83.3%**と減少が続いている。

一方で、有料動画配信市場は引き続き市場全体を牽引している。SVOD、TVOD、EST の合計で**6,499 億円**となり、前年比 **108.5%**と成長を維持した。2019 年を基準とした場合、2024 年までの 5 年間で市場規模は約 2.7 倍に拡大し、年平均成長率は**22.0%**と極めて高い水準にある。ただし、新型コロナウイルスの影響で一時的に高まっていた在宅需要が落ち着きを見せたことにより、かつての急成長期と比べると成長スピードの鈍化が顕著になってきている。

図 2 市場規模推移



2.2 セグメント別利用率・単価の推移

有料コンテンツ利用者は41.7%も、セル・レンタル市場は苦戦。

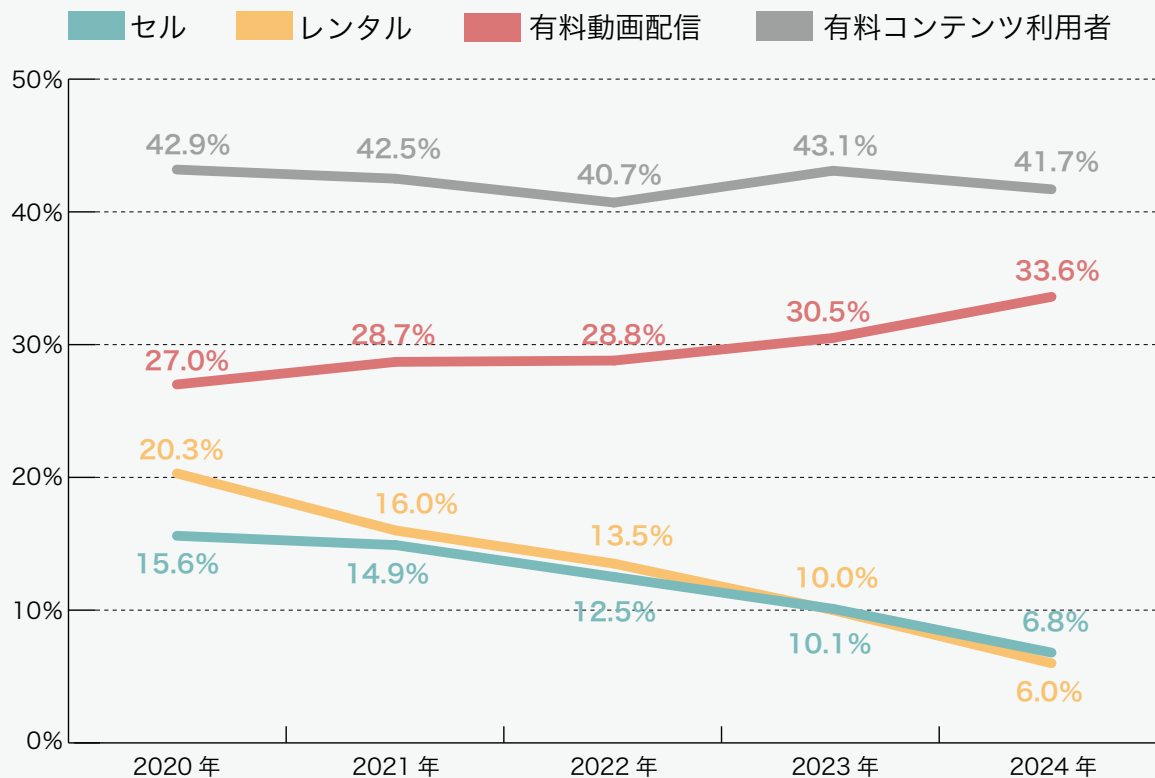
有料で映像ソフトを利用する「有料コンテンツ利用者」の割合は全体の**41.7%**となり、前年とほぼ同水準を維持した。有料動画配信サービスの利用率は**33.6%**に達し、過去最高を記録した一方で、セル・レンタル市場の低迷は続いている。セル購入率は**6.8%**、レンタル利用率は**6.0%**と、いずれも10%を下回る水準まで冷え込んだ。なお、有料コンテンツ利用者はセル購入者、レンタル利用者、有料動画配信購入者の重複を許している点に注意。

しかし、利用単価に関しては上昇傾向が見られる。セルの購入単価は2023年の**22,136円**から**31%**増加し、**29,089円**となった。レンタルの利用単価も2023年の**5,433円**から**16%**増の**6,298円**へと上昇。有料動画配信の利用単価も2023年の**22,279円**から**8%**増の**24,085円**に達した。これは、セル・レンタル市場

において利用者数の減少が続く中で、ライトユーザーが離脱し、各セグメントのヘビーユーザーが残ったことによって単価が上昇した結果と考えられる。

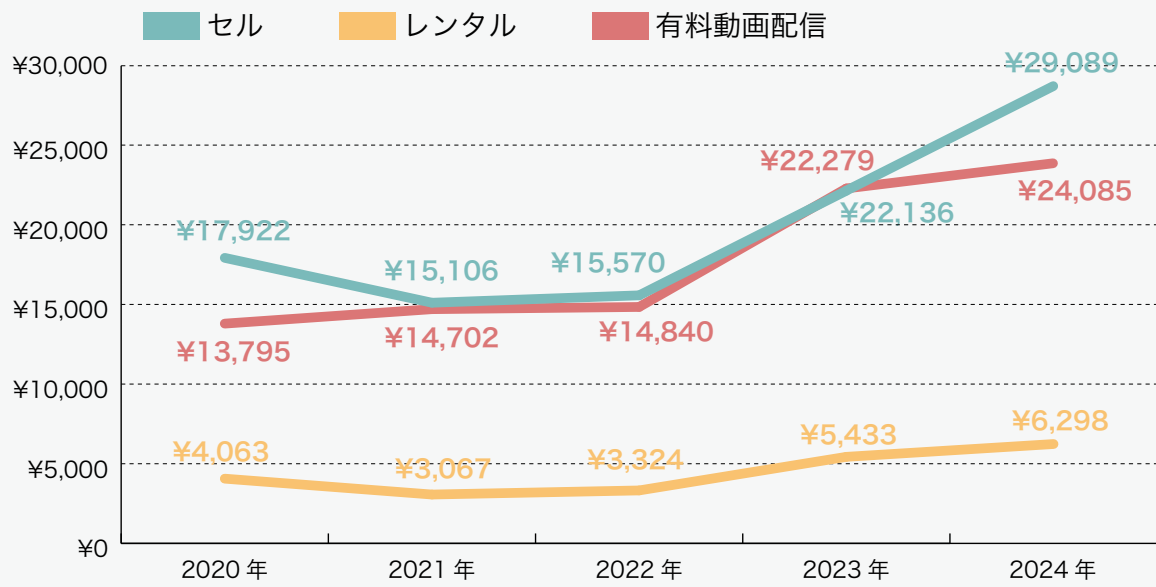
また、SVOD各社では、価格改定の動きが見られる。Netflixは2024年10月に、3つの料金プランすべてを月額100円から310円の値上げを発表。これに追随する形で、Disney+も2025年から月額150円から200円の値上げを発表している。さらに、Amazonプライムビデオでは2025年4月8日より広告付きの視聴が標準となり、広告を非表示にするには月額390円のオプションへの加入が必要となる。このような価格改定の動きが、SVOD利用単価上昇の背景として考えられる。また、今後も価格改定の動きが広がる可能性があり、利用者の動向に影響を与えることが予想される。

図3 各セグメント利用率



※「有料コンテンツ利用者」はセル、レンタル、有料動画のそれぞれの利用者に対し、重複を許して合計した数値を指す。単純合算ではない点に注意。

図4 各セグメント利用単価



2.3 レンタル・セル・有料動画配信利用者サマリー

2.3.1 各サービス利用者属性

図5 各サービス利用者の性・年代・既婚比率



図6 同居家族

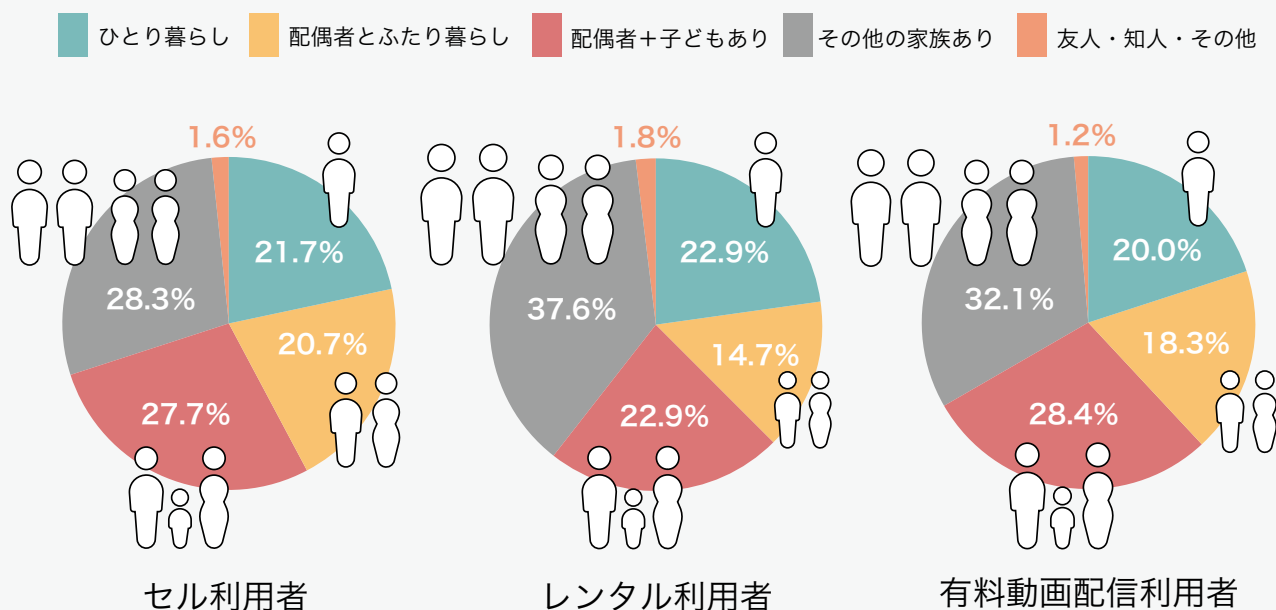


図 7 各サービス利用者の居住地域

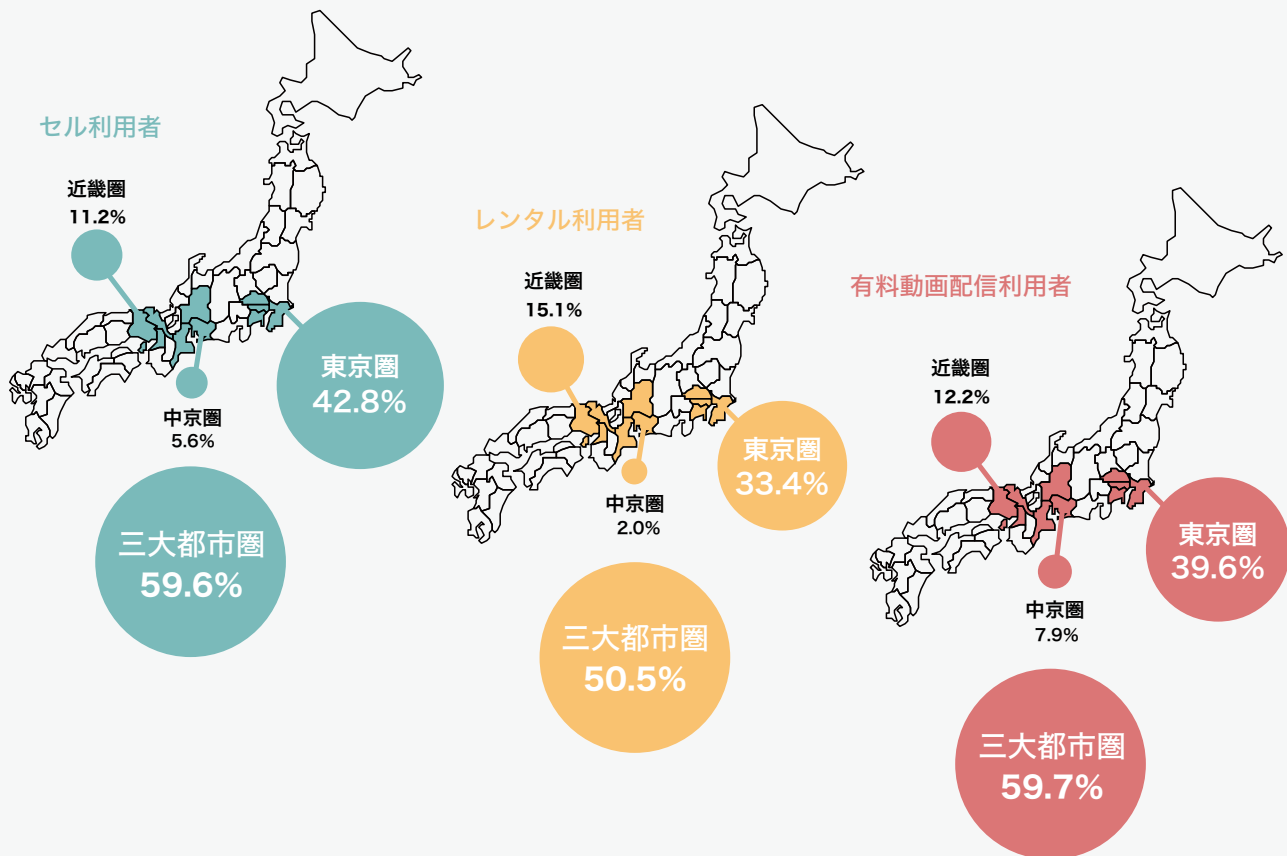
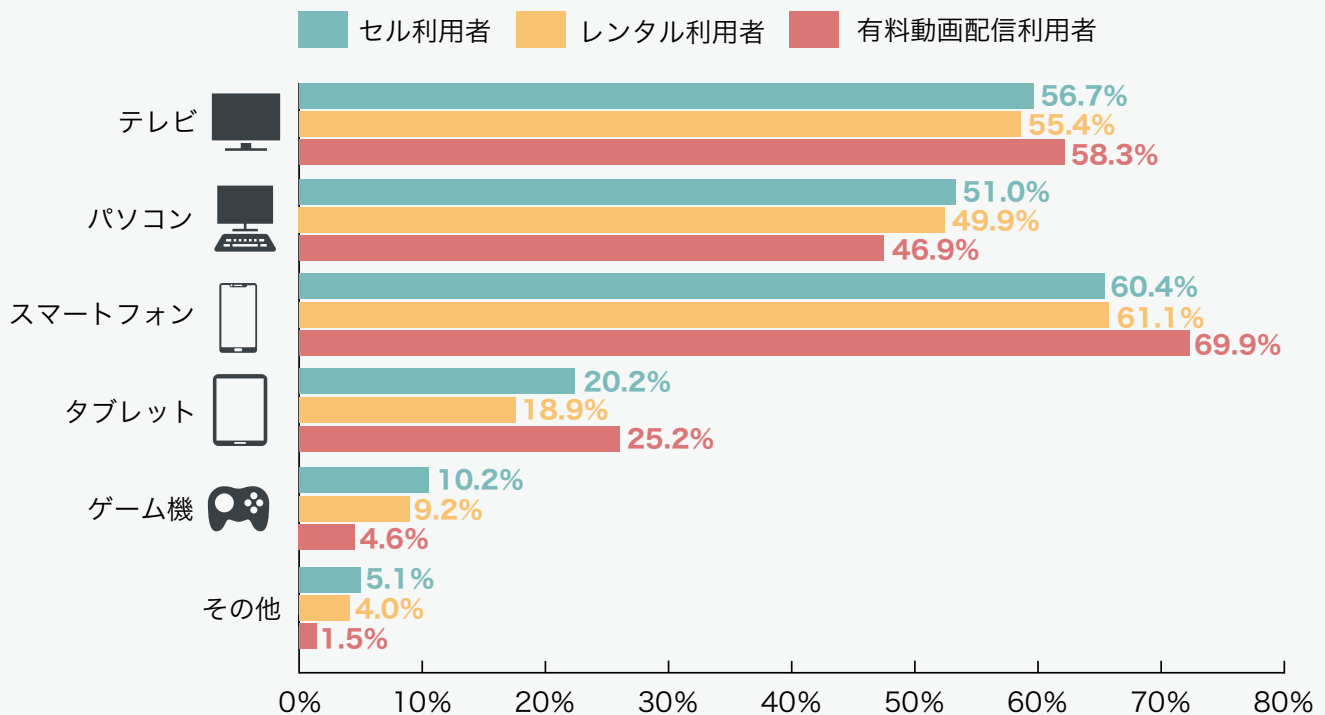


図 8 各サービス利用者の主な視聴環境



ビデオソフト・レンタル・動画配信 映像ソフト市場規模および ユーザー動向調査2024

◎利用履歴や消費額など、市場規模に
関連するファクトに関して広く聴取を
行った「規模調査」に加え、主に利用
意向やサービスへの意見などに関して
聴取した「動向調査」を実施



■映像ソフト市場規模およびユーザー動向調査2024（計40ページ）

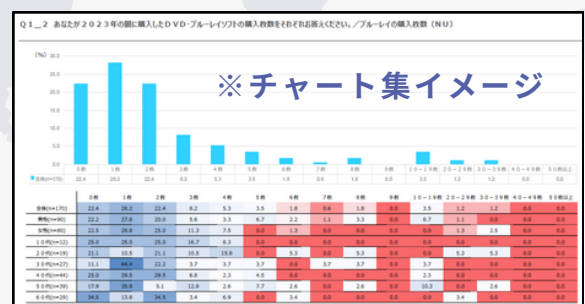
2025年5月16日発売 100,000円(税込)

「規模調査」、「動向調査」の2つの調査を実施。

今のビデオソフト・レンタル・動画配信の市場規模推計やユーザーの実態を調査。

■チャート集（2部構成・計90ページ）

ご購入いただくと、右図イメージのような規模
調査&動向調査の各設問を全体・性別・年代
別の3軸で集計したチャート集もご利用いただけ
ます。



本報告書の内容・ご購入については
下記までお問い合わせください

株式会社 エスピーアイ・インフォメーション

<https://www.spi-information.com/categories/detail/41179>